

情報・ロボット技術(IRT)による看護・介護支援 Information & Robot Technology (IRT) for nursing and care	配当学年	1～4年
	開講学期	前期・集中講座
	単位数	1
	単位区分	
担当教員	富山県立大学工学部 教授 大島 徹, 小柳健一, 唐山英明 准教授 高野博史, 増田寛之 講師 塚越拓哉, 野田堅太郎 助教 木下史也	関連する 学習・教育目標
授業の目標	人に優しい看護や介護を目指した情報技術やロボット技術に関わる幅広い知識を習得するために、情報技術やロボット技術について理解を深め、看護や介護との関係を考え、看護や介護の未来像を描く。	
学生の到達目標	① 看護や介護と工学のかかわりを理解できる。 ② 情報技術やロボット技術の基礎を理解できる。 ③ 工学技術の支援による看護や介護の未来像を描くことができる。	
授業計画	① ガイダンス/IRTによる看護・介護支援 (大島) ② 計測技術と看護・介護/生体情報の計測技術 (1) (野田) ③ 計測技術と看護・介護/生体情報の計測技術 (2) (塚越) ④ 情報技術と看護・介護/生体情報の解析技術 (1) (唐山) ⑤ 情報技術と看護・介護/生体情報の解析技術 (2) (木下) ⑥ ロボット技術と看護・介護/コミュニケーション支援技術 (1) (高野) ⑦ ロボット技術と看護・介護/コミュニケーション支援技術 (2) (増田) ⑧ まとめ/IRTと看護・介護の課題 (小柳)	
キーワード	看護、介護、情報、ロボット、IRT	
成績評価法	レポートによって評価する。	
成績評価基準	レポート (100%)	
教科書・教材参考書等	必要に応じて講義資料を配布する。	
関連科目・履修条件等	これまでの教養・専門基礎科目を標準的に履修していることが望ましい。	
履修上の注意事項や学習上の助言	理解した内容に自らの考えや主張を加え、レポートにまとめること。	
学生からの質問への対応方法	E-mail: oshima@pu-toyama.ac.jp	